

福山市東部市民大学が「大学祭」 一般開放しステージ発表や作品展示 12月23・24日、伊勢丘の東部市民センターで

福山市東部市民大学(同市坪生町5-27-1、山口朋也学長)は12月23—24日10時—15時30分、同市伊勢丘の東部市民センターで「大学祭」を行う。入場無料。



一般も入場できる形での開催は4年ぶり。23日10時—12時30分と24日11時20分—12時30分は「クリスマスステージ」として、同大の学生たちが日ごろの学習の成果を発表する。オープニングは謡曲。英語劇「クリスマスキャロル」(ミュージカル)や「赤鼻のトナカイ」、韓国劇も上演する。中高年体操やリズム体操、ヨガや太極拳もある。



24日は万葉集の解説、コーラス=写真上=など。13時30分—15時は特別講演「もうすぐ1000件!福

山市民病院 ロボット手術10年の歩み」。同院の香川哲也・外科科長が、難易度の高い手術が可能で患者の負担が軽減されるなど利点の多い手術支援ロボット「ダヴィンチ」について話す。

作品展示は両日とも行う=写真中。作者や同大学の講師も来場して創作への思いを語る。23日13時30分—14時30分は写真や書道(かな)など、14時30分—15時30分はパソコン。24日10—11時は日本画、書道(漢字)、洋画、陶芸ほか。

23日10時30分—15時は囲碁対局を催し、一般の参加も歓迎する=写真



下(イメージ)。希望者は10時15分までに集合すること。